



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 27 年 7 月 6 日(月)

国土計画協会地域連携推進団体協議会設立 編

7月6日、JR市ヶ谷駅間近のアルカディア市ヶ谷において、国土計画協会地域連携推進団体協議会の設立総会が開催されました。この協議会は、旧高速道路交流推進財団の観光資源活用トータルプラン(平成19~25年)の受賞団体と国土計画協会の高速道路利用・地場連携推進プラン(平成25年~)の採択団体、関係者が情報交換や情報共有、地域交流と親睦を深めながらそれぞれの活動を推進していくことを目的としています。

二つのプラン11人の選考委員がアドバイザーを、6人の受賞団体の方が世話人を引き受けて下さっています。協議会には21団体、2人の個人会員が参加しており、この日は19団体26人(個人会員含む)の出席がありました。

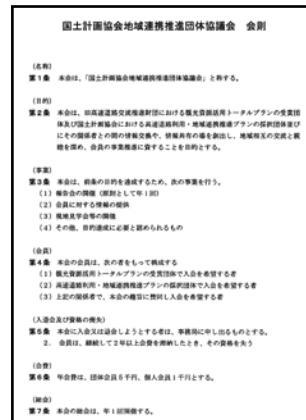
国土計画協会・奥田楯彦理事長からの開会挨拶後、当地への視察にも来られた永田浩治郎道路部長から協議会についての説明があり、会則が承認されました。

交流会に先立ち、(株)JTB 総合研究所の波瀾郁代企画調査部長から「多様化する訪日外国人旅行者の行動」と題した講和がありました。国のデジタル・ジャパン事業を受けて地方では何をしたら良いのか?といった内容でしたが、インバウンドであろうと日本人の国内旅行であろうと、限られた地域資源をいかに磨き、多様なツールを用いて情報発信の工夫をどれだけするかに尽きると感じました。これまでに、のしろ市民まちづくりフォーラムや視察においで下さった講師の方々からいただいた教えやアドバイスそのものです。

交流会では、第一回観光資源活用トータルプランの最優秀賞受賞団体で、協議会の世話人代表をつとめて下さる(一社)長崎県観光連盟の掃守純朝国内誘致部長から、協議会で30人40人と団体で視察・交流に行き、地域にまとまったお金を落としましょう!とのお挨拶がありました。色々な知見やノウハウをお持ちの方々との交流は、きっと秋田にも活力を与えてくれるのではないのでしょうか。

会場にはいつものようにたくさんのお料理が並びましたが、名刺と情報の交換に忙しく、それらに手をつける間もほとんどなく、あっという間に時間が過ぎた東京の一夜でした。

文： 渡辺 千明



協議会の設立総会は、奥田理事長のご挨拶で始まり(上)。会則の一部(下)。



(株)JTB 総合研究所の波瀾企画調査部長による講和。旅行や観光に特化した研究所もあるんですね。



能代のお茶交流が始まった和東町の方や、風景街道・菅江真澄の道の方もおいでになっていました。